学校番号	４０８

平成 31 年度　商業科

教科	商業	科目	簿記	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	簿記　新訂版　（東法出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

簿記は、企業等の経済活動を帳簿に記録・整理し、一定期間ごとに会計報告を作成するための情報処理システムです。簿記検定を取得していると就職活動時だけでなく、就職後も企業に評価してもらえるので、大変有利です。慣れない科目で親しみにくい科目かも知れませんが、一緒に頑張りましょう。

2　学習の到達目標

１．取引の仕訳，勘定記入，決算など簿記に関する知識と技術を習得し，簿記の基本的なしくみについて理解する。
２．適正な会計処理を行う能力と態度を育む。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	個人企業における簿記に関心をもち,その知識と技術の習得をめざして意欲的に取り組むとともに,企業において日常発生する取引について適正な会計処理を行う実践的な態度を身につけている。	いろいろな処理法や記帳法について，なぜ,そのように行うのかなど自ら思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し,創意工夫する能力を身につけている。また，適正な会計処理を行う能力を適切に表現できる。	個人企業における簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ，いろいろな場面において適正な会計処理を行う。	個人企業における簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ，簿記の基本的なしくみについて理解している。
評価方法	授業態度 レポート　など	定期考査 小テスト レポート　など	定期考査 小テスト レポート　など	定期考査 小テスト　など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	簿記の基礎	第1章　簿記の基礎 第2章　資産・負債・純資産と貸借対照表 第3章　収益・費用と損益計算書 第4章　取引と勘定 第5章　仕訳と転記 第6章　仕訳帳と総勘定元帳 第7章　試算表 第8章　精算表 第9章　決算	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a：簿記の意味・目的などの基礎的内容や資産・負債・純資産・収益・費用の意味および損益計算書・貸借対照表の作成，さらに簿記一巡の手続きに関心をもち，まとめたり，問題演習に取り組もうとする。 b：なぜ簿記をつけるのか，なぜ勘定を設けるのか，などについて，考えている。 c：仕訳帳および総勘定元帳の記入や損益計算書・貸借対照表などの作成に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。 d：簿記の意味・目的・歴史や簿記一巡の手続きに関する基礎的・基本的な知識を身につけ，内容を理解している。	授業態度 レポート
1	取引の記帳 その1	第 10 章 現金・預金などの取引 第 11 章 商品売買の取引 第 12 章 掛け取引 第 13 章 手形の取引 第 14 章 有価証券の取引 第 15 章 その他の債権・債務の取引 第 16 章 固定資産の取引 第 17 章 個人企業の資本の取引 第 18 章 販売費及び一般管理費と税金の取引	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	a：個人企業における基本的な取引の記帳は，どう行うのかについて関心をもち，自分から進んでまとめたり，問題演習に取り組もうとする。 b：なぜこのように仕訳するのか，なぜ補助簿はこのように記入するのかなどについて考えている。また，資本に関する取引について，資本が計算上の概念であるという点から取引の意味を考えている。 c：個人企業における基本的な取引の仕訳，総勘定元帳への転記，各種補助簿の記入など，取引の記帳に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。 d：個人企業における基本的な取引の構造を理解し，取引の記帳に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。また，各種補助簿の役割を理解し，簿記の目的の一つに財産管理があることを理解している。	授業態度 定期考査 小テスト
2	決算 その1	第 19 章 決算整理(その1) 第 20 章 8桁精算表 第 21 章 帳簿決算	○ ○ 	 ○ 	○ ○	○ ○	a：決算手続きの方法に関心をもち，自分から進んでまとめたり，問題演習に取り組もうとする。財務諸表を見て企業の状況を把握しようとする。 b：決算整理の意義や整理仕訳の方法などについて考えている。また，財務諸表を活用して企業の状況について判断している。 c：決算整理を伴う決算を行うための基礎的・基本的な技術を身につけている。	授業態度 定期考査 小テスト

							d: 決算手続きの意味を理解し，決算手続きに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、財務諸表の役割を理解している。	
2	会計帳簿と帳簿組織	第 22 章 会計帳簿 第 23 章 伝票	○	○	○	○	a: 帳簿の種類や帳簿全体の仕組み，さらに３伝票制に関心をもち，進んでまとめたり，問題演習に取り組もうとする。 b: 一般的な分課制度を前提に，どのような帳簿が必要なのかについて考え，各伝票の記入の違いについても考えている。 c: 伝票の起票・集計・元帳への転記に関する基本的な技術を身につけている。 d: 帳簿と帳簿組織・３伝票に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。	授業態度 小テスト
2	決算 その２	第 24 章 決算整理(その2) 第 25 章 財務諸表の作成	○ ○	○	○	○	a: 費用・収益の繰り延べと見越し，有価証券の評価など決算整理事項に関心をもち，まとめたり，問題演習に取り組む。 b: 期間損益計算の観点から，費用・収益の繰り延べと見越しの意義や，評価勘定の観点から，なぜ，減価償却の記帳を間接法で行うのかなどについて考えている。 c: 費用・収益の繰り延べと見越し，有価証券の評価，間接法による減価償却の記帳などに関する基本的な技術を身につける。 d: 費用・収益の繰り延べと見越しなど，新しい決算整理の意味を理解し，決算整理仕訳や財務諸表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。	授業態度 定期考査 小テスト
2	取引の記帳 その２	第 26 章 特殊な商品売買の取引 第 27 章 特殊な手形の取引	○	○	○	○	a: 特殊な商品売買取引と特殊な手形取引に関心をもち，どのような点が特殊なのかについて，調べたり，まとめようとする。 b: 特殊な商品売買取引と特殊な手形取引についての特殊性を考え，判断している。 c: 特殊な商品売買取引と手形取引の記帳に関する基本的な技術を身につけている。 d: 特殊な商品売買取引と手形取引について，構造を理解し，それを合理的に記帳する基本的な知識を身につけている。	授業態度 レポート
2	仕訳帳の分割	第 28 章 仕訳帳の分割 第 29 章 5伝票による記帳	○	○	○	○	a: 記帳の合理化に関心をもち，教科書を読んだり，疑問点を整理し，意欲的に授業の中で確認しようとする態度が見られる。 b: 特殊仕訳帳の記帳方法を学び，記帳の合理化や、どのような点でより合理化されているのかを考えている。 c: 特殊仕訳帳としての現金出納帳・当座	授業態度 定期考査 小テスト

							預金出納帳・仕入帳・売上帳の記入及び５伝票の起票・集計・転記に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。 d：記帳の合理化について理解を深め，特殊仕訳帳に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。	
3	本支店会計	第30章 本支店の取引 第31章 本支店の財務諸表の合併	○ ○	○	○	○	a：支店会計が独立している場合の会計のしくみについて関心をもち，まとめたり，問題演習に取り組もうとする。 b：支店会計が独立している場合，本支店間の取引の記帳に際し，支店勘定と本店勘定の意義について考え，いろいろな場面において適切に判断し記帳できる。 c：本支店間および支店相互間の取引の記帳や本支店の合併財務諸表の作成に関する基本的な技術を身につけている。 d：本支店間および支店相互間の取引の記帳や本支店の合併財務諸表の作成に関する基本的な知識を身につけている。	授業態度 定期考査 小テスト
3	株式会社の取引	第 32 章 株式会社の取引(その 1) 第 33 章 株式会社の取引(その 2)	○	○	○	○	a：株式会社について関心をもち，株式会社の基本的取引の記帳について，進んでまとめたり，問題演習に取り組もうとする。 b：株式会社はなぜ代表的企業形態なのか，株主の払込金額の全額を資本金に計上することがなぜ原則なのか，社債の評価に償却原価法を適用するのはなぜかなどについて考え，それを説明できる。 c：株式会社における基本的な取引の記帳に関する基本的な技術を身につけている。 d：株式会社会計の基礎的内容を理解し，株式会社における基本的な取引の記帳や株式会社に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	授業態度 レポート